

松阪市子ども支援研究センターだより

E-mail: kyo.div@city.matsusaka.mie.jp <http://www.city.matsusaka.mie.jp>

松阪教育支援センター「鈴の森教室」TEL 26-1900 FAX 26-1901 E-mail: suzunomori@matsusaka.ed.jp
松阪教育支援センター「うれしの教室」TEL 42-7374 FAX 42-4568 E-mail: uresino-k@matsusaka.ed.jp

教師が学び続ける、ということ



松阪市子ども支援研究センターが主催する研修講座も、いよいよ本格的にスタートしました。その中から、先日は、前松阪市立第一小学校長 木村 祐子先生が講師を務める、国語についての講座がありました。松阪市立松江小学校を会場として、4年生の児童への「一つの花」の提案授業と、その後、参加者を対象とした講演の形で、講座の研修は進められました。

授業後の講演の中で、木村先生は、今回改めて「一つの花」に取り組んで、教材の読みについて新たな発見があったこと、また、そうした教材研究をもとに子どもたちと授業に取り組んだけれど、子どもたちの反応や、子どもたちを取り巻く状況を把握しきれず、うまくいかなかったところがあったことなどを、反省も交えながら生き生きと語ってくださいました。

その話を聞きながら、教師という仕事において、学び続けることの大切さを改めて考え直していました。

当たり前のことですが、教師は、教えることが仕事です。しかし、ややもすると、教え方やその技術ばかりがクローズアップされてしまったり、何を教えるか、は旧態依然のままだったり、そういう「落とし穴」にはまってしまうことがあるのかもしれない。

もちろん、いつの世も教えなければならない大切なことはあると思います。しかし、同時に、新しい時代や、子どもたちと、それを取り巻く状況の変化に応じて、教え方も、また、教える内容も、日々「バージョンアップ」していかなければならないのではないのでしょうか。

そういう意味では、教師は「教えることの専門家」であると同時に「学ぶことの専門家」であり続けることが大切なのでは、と考えをつなげる、そんな講座のひとつでした。

(楠堂 晶久)

子ども支援研究センター 所長代理 就任あいさつ

平素より、子ども支援研究センターに対しまして、多くのご支援、ご指導をいただき、誠にありがとうございます。

学校と教育行政、各関係機関が、関係をより密にして、一丸となって取り組むことの重要性を痛感しています。今まで積み上げてこられた取り組みを大事にしながら、現場のニーズに応えられるよう、前進していきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

(常保 平通)



研修講座について

- ★ 本年度も研修講座にたくさんのお申し込みをいただきありがとうございます。6月10日より第2次募集をさせていただいております。メール(kyo.div@city.matsusaka.mie.jp)にてぜひお申し込みください。また、メール送付ができない場合は、FAX(26-1901)にてお申し込みください。当センターのWebページに受付情報を掲載し、随時更新しておりますので、ご確認ください。電話(26-1900)での確認もできますので、よろしく願いいたします。なお、申込書(別紙1)もダウンロードできますので、ご活用ください。
(<http://www.city.matsusaka.mie.jp/www/contents/1431398600385/index.html>)
- ★ 過日、第一次の締切までの受付分につきましては、各園・学校に受講可否の通知をさせていただきましたので、ご確認をお願いいたします。なお、それ以降の申し込み分につきましては、受講不可の場合のみ電話でお伝えいたします。また、夏季休業前に第一次とそれ以降の受付を含めた受講可否通知を送付させていただきます。ご確認をお願いいたします。

研修講座のご案内

★8月25日(火) A-2 社会
安野 功先生 國學院大學人間開発学部教授
「子どもが本気で学ぶ社会科の授業づくり」
小学校教諭として赴任。その後、文部省初等中等教育局 教科調査官など歴任。松阪地区で採択されている社会科教科書「小学社会(日本文教出版)」の著作者として活躍です。

★8月18日(火) A-7 体育/保健体育
柳瀬 慶子先生 高田短期大学講師
「協同的な学びを育む表現運動・
ダンスの授業づくり」
表現運動・ダンスの授業は、どのように取り組まれていますか。実技を通して授業づくりを体感していただき、体育の授業にぜひ役立ててください。

社会科副読本編集委員会より

インターネット版社会科副読本『わたしたちの松阪市』を子どもたちとともにご活用いただいているでしょうか。

特に、小学校3・4年生の担任になられた方や、新しく松阪市に赴任された方は、ぜひ、このホームページをご覧ください。学習に役立てていただければ幸いです。

※「わたしたちの松阪市」ホームページアドレス (<http://fukudokuhon.jp/>)

○どうぞご活用ください○

社会科副読本編集委員会では、毎年新しい資料を加えたり、データを最新のものに更新したりしています。昨年度は第7章の完成に向けて編集作業を続け、平成26年度末には第7章が完成しました。

今年度は、4月から「松阪市クリーンセンター」が稼動し始めたことに伴い、「第4章1 くらしとごみ」のページの大幅なリニューアルに向け活動していきたいと考えています。また、他の各章の写真や数値等のデータも随時更新していきたいと考えています。

もし、このホームページを一度もご覧になったことがない方がいらっしゃったら、ぜひ、ご覧ください。小学校3・4年生のみならず、社会科のみならず、さまざまな学年のさまざまな学習に活用できますので、ぜひ、社会科副読本『わたしたちの松阪市』を教材としてご活用いただきますよう、お願いいたします。

～ 編集委員の紹介 ～ < 敬称略 >

委員長	松本 吉弘(第一小)	技術指導	島崎 良
編集委員	鈴木 康之(第四小)	編集委員	東 徹(伊勢寺小)
編集委員	森井 彰子(港小)	編集委員	井本 賢治(掃水小)
編集委員	岡村 梓(中原小)	編集委員	川合 淳一(天白小)
編集委員	高柳 江里子(柿野小)		
事務局	津畑 哲哉(子ども支援研究センター)		湯田 文雄(子ども支援研究センター)